

生活のドン底に陥つてゐる農村生活打倒の爲我等は固く腕を凝らして立たねばならぬ。来る臨時議會は農村窮乏打倒の爲に開かれるのである。此の重大時機に際して準備する本大會の使命も亦重大である。我々の叫びは之を能く迄貫徹せしめねばならぬ。(挨拶の要旨)

(2) 農民聯合會 二期

(3) 農民連年 (開會者一任)

議長 日島九州同盟會々長 阿部 乙吉

副議長 城戸 龜雄、藤原 常吉

議長挨拶

内外多事多端、農民は瀕死の苦境に在る。

本大會の議事は之を徹底審議せられんことを。

(4) 書記任命 (議長指名)

石井 栄、生野 友、櫻、洋、敏、行、人、相、富

(5) 挨拶報告
文持政憲。従来社會政策黨を支持してゐたが本年四月三十日の緊急大會に於て日島本軍の指導は精神に立脚して國家社會黨支持を決定したのである。

日當の闘争状態。地主の立場に對して戦つて来た。各郡に於ける組織を小作争議に於て小作人に有利な解決を得てゐる。且下取取中の小作争議は浮浪者の事件を毎週に十数件あり。

組織農民大衆。組合員は一三、〇〇〇を有するも農に動員力を有するは一七支隊、五〇〇人である。

農村今日の生活苦境の原因は地主の功勞と都合よりの搾取に在る故に地主の功勞に對抗すると共に都合より